

## キオクシアのファブグリーン化に向けた取り組み

### KIOXIA Group's initiatives for NET-zero GHG emission

キオクシア ○ 谷本 樹里

KIOXIA ○ Jyuri Tanimoto

E-mail: [jyuri.tanimoto@kioxia.com](mailto:jyuri.tanimoto@kioxia.com)

キオクシアグループは、スマートフォンやサーバーなど、多くの電子機器に欠かせない半導体メモリを供給し、事業を通じて持続可能な社会の発展に貢献していきます。一方、コンシューマーエレクトロニクス、自動車、AI（人工知能）、データセンターなどの市場拡大に伴い、半導体メモリの需要も拡大しており、半導体メモリ製造時の消費エネルギーは増加しています。最近では、地球規模での気候変動や環境負荷などの環境問題に対処し、持続可能な未来を築くための根本的な解決策が求められています。半導体事業における気候変動への社会的関心に応えるため、キオクシアグループの生産拠点では、従来から PFC（パーフルオロカーボンガス）等のガス除去装置を積極的に設置してきました。さらに、製造新棟では、最新の設備を導入し、省エネルギーで効率的な生産プロセスを実現し、環境負荷を低減する取り組みを行っています。また、再生可能エネルギーの活用を推進するため、2022 年度からは当社グループ工場の建屋に屋上型太陽光発電システムを導入しています。

本講演では、キオクシアグループがファブグリーン化に向けて取り組んでいる活動について説明し、気候変動、サーキュラーエコノミー、水資源の有効活用・生物多様性といったテーマについても触れます。さらに、将来に向けた課題についても紹介します。